

中学生が AI・機械学習を体験的に学ぶ 追手門学院大手前中で micro:bit を活用した IT 授業

追手門学院大手前中学校（大阪市中央区、校長：大橋 忠仁）は 12 月 13 日（土）、世界中で活用されている STEAM 教材「micro:bit」を用い、中学生 20 名を対象とした「AI と機械学習の概念を探究する IT 授業」を開催します。

「総合的な探究の時間」を中心に教科横断的な学びを取り入れた STEAM 教育が全国で広がる中、初等中等教育段階から AI を活用した学習や AI リテラシーの育成が社会的にも求められています。

本授業は、micro:bit 教育財団の担当者が来校し、生徒とともにワークショップ形式で教材を試用するモニター校として本校が選ばれたことを受け、実施されるものです。



今回使用する「micro:bit」は、イギリスの公共放送局 BBC が開発した教育用の小型コンピュータです。手のひらサイズの基板に LED やセンサーなどが搭載されており、プログラミングによって多様な工作作品に組み込んで動かすことができます。

本授業が実現した背景には、本校が先駆的に推進してきた STEAM 教育があります。中学生の授業にロボットプログラミングを取り入れるなど、探究的な学びの機会を広げてきたことに加え、「デザイン思考をもとに社会課題に向き合い、SDGs の課題解決をめざすロボット開発活動」を展開するロボットサイエンス部が大阪・関西万博や WRO（World Robot Olympiad）ロボット大会で成果を挙げている点も評価され、日本のモニター校として選定されました。

当日は、micro:bit 教育財団の担当者であるルビー・ベル氏がイギリスから来日し、生徒に対してフィジカルコンピューティングのワークショップを実施。生徒たちは AI や機械学習の基本的な考え方を学びながら、ライト・スピーカー・モーターなどを操作する独自のプログラムづくりに挑戦します。

【ポイント】

- 英国より micro:bit 教育財団が来校し、日本のモニター校として本校で特別授業を実施
- 中学生が micro:bit を用いてプログラミングに取り組み、AI と機械学習の概念を体験的に学ぶ
- 探究学習やロボットプログラミングなど、学校全体で推進してきた STEAM 教育の取り組みが評価され、モニター校に選定

【授業概要】

- 授業内容：「micro:bit を活用した AI と機械学習の概念を探究する IT 授業」
- 日 時：2025 年 12 月 13 日（土）13：30～16：00
- 場 所：追手門学院大手前中・高等学校（大阪府大阪市中央区大手前 1-3-20）
- 対 象：中学 1、2 年生（20 名）

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-665-9166 蛸原・織田